

科目名	看護学概論 I	単位数	時間	履修年次
		1	30	1年次／通年
担当教員名	伊藤 満美			

科目目標	看護に必要な概念や理念、それらの変遷を学び看護の本質を理解する。 看護の対象について看護学視点について学び統合的に理解する。 看護の機能と役割を学び、看護活動の概要を理解する。
テキスト	『系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[1] 看護学概論』 『系統看護学講座 別巻 看護史』 (医学書院) 『看護の基本となるもの』(日本看護協会出版社) 『看護覚え書』(現代社)
評価方法	○終講試験(筆記)

授業計画		
回数	授業内容	教材
1	看護とは、看護の概念、看護の本質	テキスト
2	ナイチンゲール看護の理念、看護の役割	テキスト
3	看護の定義 (GW)	テキスト
4	看護の変遷	テキスト
5	看護の対象としての人間、看護活動の場	テキスト
6	健康と病気・健康に関する指標	テキスト
7	看護活動の実際、看護方式、看護の資格	テキスト
8	保険・医療・福祉における看護活動について	テキスト
9	看護と法律、保健師助産師看護師法	テキスト
10	看護における倫理と価値、医療事故における法的責任	テキスト
11	看護の概念と知的構造について、看護理論とは	テキスト
12	主要な看護モデルと理論概要	テキスト
13	主要な看護モデルと理論概要	テキスト
14	看護教育をめぐる現状、基礎教育と卒後研修の位置づけ	テキスト
15	看護モデルと看護理論GW発表・まとめ	テキスト

<p>学生へのメッセージ (事前学習内容、推薦文献、授業にあたっての注意事項など)</p>	<p>この科目は各看護学の導入となり、みなさんが看護学を学習していくうえで大切な基礎的概念を学ぶ科目です。難解な言葉や専門用語など戸惑いを覚えるかと思いますが、看護の素晴らしさや可能性を感じられるように講義したいと思います。予習・復習を含め理解につなげられるよう一緒に学習していきましょう。</p>
---	---

科目名	基礎看護学援助論 基本技術Ⅲ (環境、安楽・活動・運動、休息・睡眠)	単位数	時間	履修年次
		1	30	1年次/通年
担当教員名	島谷 美紀子			

科目目標	<p>環境が健康におよぼす影響を理解し、適切な環境を整えるために必要な援助方法を習得する。</p> <p>対象への安全の必要性と安楽確保の要素を理解し、適切に援助する方法を習得する。</p> <p>人間の活動・運動の意義を理解し、健康生活を送るために必要な援助の方法を理解する。</p> <p>人における休息・睡眠の意義とメカニズムを理解し、睡眠・休息の必要性に応じた援助方法を習得する。</p>
テキスト	<p>『系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ』 (医学書院)</p> <p>『系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ』 (医学書院)</p> <p>『看護技術ベーシックス』 (サイオ出版)</p>
評価方法	<p>○終講試験(筆記・技術)</p> <p>○課題提出、授業や演習・課題への取り組み状況</p>

授業計画		
回数	授業内容	教材
1	基本的活動の基礎知識	テキスト、資料
2	活動・運動の意義	テキスト、資料
3	姿勢・安楽な体位・体位変換	テキスト、資料
4	(演習) 体位変換の実際 ポジショニング・体位変換	テキスト、資料
5	移動・移送	テキスト、資料
6	休息・睡眠の援助	テキスト、資料
7	(演習) 体位変換の実際 移動・移送	テキスト、資料
8	看護における環境とは	テキスト、資料
9	環境のアセスメント	テキスト、資料
10	環境を整える技術(環境整備)	テキスト、資料
11	ベットメイキングの目的・方法	テキスト、資料
12	ベットメイキングの方法	テキスト、資料
13	(演習) ベッドメイキングの実際	テキスト、資料
14	シーツ交換の目的・方法	テキスト、資料
15	(演習) シーツ交換の実際	テキスト、資料

<p>学生へのメッセージ (事前学習内容、推薦文献、授業にあたっての注意事項など)</p>	<p>「安楽である」という事は、看護技術ではとても大事な条件です。環境の整備・体位変換や移送といった技術すべてに「安楽である」ということが裏打ちされています。授業を通して安全で安楽な技術をしっかり身につけましょう。</p>
---	---

科目名	基礎看護学援助論 基本技術IV (看護過程の展開)	単位数	時間	履修年次
		1	30	1年次/通年
担当教員名	藤谷 恵美子			

科目目標	看護過程の意義とプロセスを理解し、事例を用い看護過程の展開ができる。
テキスト	『系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔2〕基礎看護技術 I』 (医学書院) 『ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断』 (スーヴェルヒロカワ) 『看護診断ハンドブック 10 版』 (医学書院)
評価方法	○終講試験(筆記) ○看護過程展開の記録・レポート

授業計画		
回数	授業内容	教材
1	看護過程の概念 看護過程の各段階	資料、テキスト
2	問題解決に必要な知識、看護過程のプロセス	資料、テキスト
3	アセスメントの構成要素	資料、テキスト
4	機能的健康パターンの理論的背景	資料、テキスト
5	事例展開、情報整理 (演習)	資料、テキスト
6	重点アセスメント、データの妥当化	資料、テキスト
7	データベース作成	資料、テキスト
8	情報の分析 (GW)	資料、テキスト
9	情報の分析 (GW)	資料、テキスト
10	関連図、問題の統合	資料、テキスト
11	看護診断の種類と記述	資料、テキスト
12	看護診断の優先順位の決定	資料、テキスト
13	看護診断に対する成果 (目標)	資料、テキスト
14	看護計画立案	資料、テキスト
15	評価・修正	資料、テキスト

学生へのメッセージ (事前学習内容、推薦文献、授業にあたっての注意事項など)	全ての専門分野における看護過程の基礎を学びます。各専門分野で展開できるようにしっかり理解しましょう。
---	--

科目名	基礎看護学援助論 援助技術Ⅲ (検査・治療・処置 (包帯法を含む), 与薬)	単位数	時間	履修年次
		1	30	1年次/通年
担当教員名	藤野 暖子			

科目目標	検査・治療にともなう患者の心理を理解し、検査・治療を安全かつ正確に行うために必要な援助技術を習得する。 与薬の意義と看護者の役割を理解し、与薬の援助ができる。			
テキスト	『系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ』 (医学書院) 『系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ』 (医学書院) 『看護技術ベーシックス』 (サイオ出版)			
評価方法	○終講試験 (筆記・技術)			

授業計画		
回数	授業内容	教材
1	診療・診察と看護、	テキスト
2	検査の意義、検査における看護の役割	
3	生体検査の種類と方法、看護の視点	テキスト
4	検体検査の種類と方法、看護の視点	テキスト
5 6	治療と看護 (穿刺、褥瘡、酸素、吸入、吸引、電法)	テキスト・DVD
7	創傷管理 (包帯法)	テキスト
8	与薬の種類と方法、看護の視点	テキスト
9	薬物療法と患者の看護 ①与薬法 (経口、吸入、点眼、点鼻、坐薬)	テキスト
10	薬物療法と患者の看護 ②注射法 (皮下、皮内、筋肉、静脈、点滴)	テキスト
11	薬物療法と患者の看護 ③輸液・輸血	テキスト
12 13	(演習) ①皮下・筋肉注射	テキスト
14 15	(演習) ②採血法・輸液・シリンジポンプ	テキスト

学生へのメッセージ (事前学習内容、推薦文献、授業にあたっての注意事項など)	どのような状況にある対象に対しても、根拠を理解して応用できる技術を学びましょう。VTRは講義前に視聴し、演習では自己学習をして確実な技術を習得しましょう。
---	---

科目名	成人看護学援助論 I	単位数	時間	履修年次
		1	30	2年次/通年
担当教員名	内田 まどか			

科目目標	急性期の特性を知り看護を理解する。 手術を受ける成人の身体侵襲を知り、周手術期における援助方法を理解する。 生命危機状態にある成人の心身の変化を知り、援助方法を理解する。
テキスト	『高齢者と成人の周手術期看護 1～3』 (医歯薬出版) 『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論』 (医学書院) 『看護診断ハンドブック』
評価方法	○終講試験(筆記) ○出席状況、課題提出状況

授業計画		
回数	授 業 内 容	教材
1	急性期の概念・特徴・看護のポイント 手術療法、麻酔の目的と種類、手術侵襲と生体反応について	テキスト
2	術前の看護 ①身体能力のアセスメント ②術前教育の目的と種類 ③患者・家族の心理・社会面の特徴 ④術前看護のポイント	テキスト
3	術中・術後の看護	テキスト
4	術後の看護 ①術後1日目の術後の状態、術後合併症、観察項目について	テキスト
5	術後の看護 ①術後1週間の基本的看護について	
6	事例で学ぶ看護「腹腔鏡下結腸切除術を受ける患者の看護」 ①病態の理解 ②アセスメントの視点 ③看護上の問題	テキスト
7	④看護の視点 事例に基づいた技術展開	
8	生命危機の概念、生命危機のもたらすもの、対象の理解	テキスト
9	身体的援助 ①生命危機・生理機能安定の援助 ②危機状態からの回復	テキスト
10	心理・社会的援助 ①苦痛と不安の緩和 ②その人らしさへの援助	テキスト
11	事例で学ぶ看護「心筋梗塞で生命危機状態の患者の看護」 ①病態の理解	テキスト
12	事例で学ぶ看護「心筋梗塞で生命危機状態の患者の看護」 ②アセスメントの視点 ③看護上の問題	テキスト
13	事例で学ぶ看護「心筋梗塞で生命危機状態の患者の看護」 ④看護の視点 事例に基づいた技術展開	テキスト
14	演習 ①集中治療中の観察 ②気管切開法 ③心電図モニターの観察 ④酸素飽和度 ⑤気管内挿管、酸素療法	テキスト
15	まとめ	

学生へのメッセージ (事前学習内容、推薦文献、授業にあたっての注意事項など)	専門基礎分野の知識・技術に基づいて、急性期にある対象への看護を学んでいくので、既習科目の復習をしてください。また、看護過程の展開の基盤となる学習が網羅されているので、しっかりと学習を進めてください。
---	---

科目名	老年看護学援助論Ⅲ	単位数	時間	履修年次
		1	30	2年次／通年
担当教員名	藤原 早苗			

科目目標	事例の展開をとおして老年期にある対象を理解し、老年看護に必要な知識と技術を統合する。
テキスト	『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学』（医学書院） 『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論』（医学書院） 『看護診断ハンドブック』（医学書院）
評価方法	○終講試験(レポート) ○学習姿勢

授業計画		
回数	授業内容	教材
1	大腿骨頸部骨折の事例提示	テキスト
2	情報収集、ゴードンの機能的健康パターンにそって整理	テキスト
3		
4	情報の解釈・分析	テキスト
5		
6		
7		
8	看護診断と優先順位の決定	テキスト
9		
10	目標設定・看護計画立案	テキスト
11		
12	行動計画立案	テキスト
13		
14	看護計画にそって実施（ロールプレイング）	テキスト
15	看護計画実施後、振り返り	テキスト

学生へのメッセージ (事前学習内容、推薦文献、授業にあたっての注意事項など)	積極的に自己学習を深め、授業に参加してください。 必ず、課題レポートの提出期限を守ってください。
---	---

科目名	小児看護学援助論Ⅲ	単位数	時間	履修年次
		1	30	2年次／通年
担当教員名	市場 千尋			

科目目標	健康障害を持つ子どもの特徴を踏まえた看護の展開プロセスを理解する。 気管支喘息で呼吸機能障害のある子どもの看護を理解する。
テキスト	『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論』 (医学書院) 『看護診断ハンドブック』 (医学書院)
評価方法	○終講試験(レポート) ○看護過程の記録物、記録物の提出状況など

授業計画		
回数	授業内容	教材
1	小児看護学における看護過程の特徴 ゴードンの機能的健康パターンにそって情報を分類・整理	テキスト
2	気管支喘息の病態生理の学習 情報収集と情報の分類・整理	テキスト
3	子どもの発達と対象の理解	テキスト
4	情報の解釈・分析 (個人ワーク)	テキスト
5	情報の解釈・分析 (個人ワーク)	テキスト
6	情報の解釈・分析 (個人ワーク)	テキスト
7	関連図の作成 (個人ワーク)	テキスト
8	看護診断と優先順位の決定	テキスト
9	看護計画の立案 (個人ワーク)	テキスト
10	看護計画の立案 (個人ワーク)	テキスト
11	子どもにとっての遊びの意義 プレパレーション、ディストラクションの実際	テキスト
12	気管支喘息の看護過程をふまえて、遊びやプレパレーションの 計画を立案する (グループワーク)	テキスト
13	気管支喘息の看護過程をふまえて、遊びやプレパレーションの 計画を立案する (グループワーク)	テキスト
14	遊びの計画の実施 (グループワーク発表)	テキスト
15	遊びの計画の実施 (グループワーク発表)	テキスト

学生へのメッセージ (事前学習内容、推薦文献、授業 にあたっての注意事項など)	病態治療論、看護過程を習得したことを前提に授業が進められます。既習の科目の復習をして授業に臨んでください。
---	---

科目名	母性看護学概論	単位数	時間	履修年次
		1	30	2年次/通年
担当教員名	内田 千恵			

科目目標	<p>母性看護の概念と意義について理解する。</p> <p>母性看護の変遷およびその理念について理解する。</p> <p>ライフステージに応じた母性各期の特徴と健康上の課題について理解する。</p> <p>人間の性とセクシュアリティの発達を理解する。</p> <p>リプロダクティブライツ・ヘルスの考え方について理解する。</p> <p>ヘルスプロモーションと母性について理解する。</p> <p>母性保健統計の動向と施策、母性保健活動について理解する。</p> <p>母性看護における生命の尊厳や生命倫理について理解する。</p>
テキスト	『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [1] 母性看護学概論』 (医学書院) 『国民衛生の動向』
評価方法	<p>○終講試験(筆記)</p> <p>○授業での学習態度</p>

授業計画		
回数	授業内容	教材
1	母性看護学とは 母性看護とは 母性の概念(母性・父性・親性) 母性看護の対象 母性の発達と親役割	テキスト
2	家族の機能と出産の意味 母性父性を取り巻く環境 母子関係に関する概念	テキスト
3	性と生殖の概念と意義 セクシュアリティの分化と発達 性・生殖機能 性分化疾患 性別違和	テキスト
4	リプロダクティブヘルス・ライツ, ヘルスプロモーション	テキスト
5	母性看護における倫理, 母性看護の変遷	テキスト・国民衛生の動向
6	母性保健の動向と対策 母子保健統計 法律/制度/健康支援施策 働く女性の健康と保護	テキスト・国民衛生の動向
7	女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化	テキスト
8	ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性	テキスト
9	ライフサイクルにおける女性の健康と看護(思春期)	テキスト
10	ライフサイクルにおける女性の健康と看護(成熟期)	テキスト
11	ライフサイクルにおける女性の健康と看護(更年期・老年期)	テキスト
12	リプロダクティブヘルスケア 家族計画 性感染症	テキスト
13	人工妊娠中絶, DV	テキスト
14	児童虐待, 国際化など	テキスト
15	母性看護における災害看護, 女性の自立支援 まとめ	テキスト

<p>学生へのメッセージ (事前学習内容、推薦文献、授業にあたっての注意事項など)</p>	<p>自分の中にある性や生殖の機能・身体の構造に関心を持ってください。 また、社会情勢に関心を寄せて、問題意識を持って考えてみてください。</p>
---	---

科目名	精神看護学概論	単位数	時間	履修年次
		1	30	2年次/通年
担当教員名	小野 浩美			

科目目標	心を病む人と精神看護の特徴を理解する。 精神保健行政と精神保健福祉法について理解する。 精神を障害された人とその家族に対する援助方法精神障害者の権利、社会参加の保障を理解する。
テキスト	『ナーシング・グラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神の基本』（メディカ出版） 『ナーシング・グラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践』（メディカ出版）
評価方法	○終講試験(筆記) ○レポート

授業計画		
回数	授業内容	教材
1	精神障害の基本的な考え方 ①こころの健康とは ②障害のとらえ方 ③社会の変化とメンタルヘルス	テキスト・資料
2	人間のこころと行動 ①人のこころのさまざまな理解 ②こころと環境	テキスト・資料
3	人格の発達と情緒体験 ①対象関係論の立場から	テキスト・資料
4	人生各期の発達課題 ーライフサイクルとメンタルヘルスー ライフサイクルとストレス・各期における特徴と危機	テキスト・資料
5	現代社会とこころ ①現代社会の特徴 ②現代社会とこころの問題 ③生活の場と精神の健康問題	テキスト・VTR 「精神に障害をもつ人への理解」
6	ストレスに対する身体反応	テキスト
7	家族とその支援 ①こころを病む人の特徴と家族の理解	テキスト・VTR 「ノーマライゼーション」 「精神障害をもつ人への支援」
8	精神保健医療福祉と看護の歴史の変遷 ①精神科医療の現状と問題点	テキスト
9	精神保健医療福祉と看護の歴史 ①日本の精神科医療と歴史の変遷	テキスト・DVD 「精神科医療と福祉の現状」
10	精神保健医療福祉をめぐる法律 ①日本の看護の歴史の変遷と法律	テキスト・必要時、資料
11	社会復帰体系に基づく精神保健活動 精神保健とリハビリテーション	テキスト・必要時、資料
12	社会復帰体系に基づく精神保健活動 精神保健活動における社会資源の活用	DVD 「病院から地域へ」
13	社会資源の活用について	
14	社会資源の活用について	資料
15	臨地実習から学ぶ・まとめ	テキスト

<p>学生へのメッセージ (事前学習内容、推薦文献、授業にあたっての注意事項など)</p>	<p>学びをとおして、こころを病む人への理解を深めるとともに自己の精神保健のあり方、こころの健康について考えてほしい。事前にVTRを視聴し精神に障害のある人の理解を深めて受講する。グループワークでは、各自の考えを発表できるように積極的に取り組んでください。</p> <p>参考図書：「精神看護学② 精神障害をもつ人の看護」（メヂカルフレンド社） 「精神看護の基礎」「精神看護の展開」（医学書院） 文献：「こころの病私たち 100人の体験」「<心の病>をくぐりぬけて」（森 実恵）</p>
---	---